

サンフランシスコ慰安婦像公聴会レポート

目良浩一

G A H T 代表

孤立戦を強いられる 在米日本人



サンフランシスコ S Fでの敗北

昨年、朝日新聞が慰安婦問題の誤報を認めたことで、国内的には「慰安婦問題には決着があった」かのような空気がありますが、私の住むアメリカでは一切、そのような実感はありません。むしろ慰安婦問題をめぐる歴史戦、情報戦はその激しさの度合いを増しています。

サンフランシスコでの慰安婦モニメント（像または碑）も、現地の

日本人やその配偶者であるアメリカ人など反対派の抵抗も虚しく、九月二十二日、軽微な修正のあと、全会一致で設置が決まってしまうました。

この慰安婦モニメント設置については七月二十一日、十一人の市議のうち八人が共同提案し、中国系のエリック・マー市議が代表提案者として提示したことを受けて、決議が行われようとなりました。

これについて賛成派、反対派を合わせて二十人以上が意見を陳述し、

それを受けて市議会は議案をこの場では採択せず、公聴会と委員会審議へ持ち越すことにしました。その公聴会の開催が九月十七日に決まり、私は地元に住む方から応援を頼まれ、公聴会で反対スピーチをするこ

このサンフランシスコでの慰安婦モニメント設立案は、これまでのように韓国系の主導ではなく、米国で初めて中国系団体、つまりサンフランシスコの南に本部を持つ抗日連

●「従軍慰安婦」問題は終わらない



揃いのTシャツで公聴会に参加。真ん中には元慰安婦の李容洙（写真提供／共同）

合会が主体となり、在米中国人の手によって進められたものでした。

しかし彼らは、七月の市議会で採択まで持ち込めなかったことで、途中で作戦を変えたのです。韓国系団体呼び掛け、元慰安婦をソウルか

ら呼び寄せて、公聴会に出席させることを決めたのです。

まさに官民挙げての中韓連合軍と、何の組織も後ろ盾もない在米日本人との戦いです。アメリカ各地で行われてきたこの構図の戦いが、アメリカでも有数の観光地であるサンフランシスコでも繰り返されることになったのです。

七月の決議の際には、設置計画が進んでいることを知っている在米日本人はほとんどいなかったようです。九月には少し情報が広がりましたが、組織的な運動ではないこともあり、十分な事前準備もできないまま当日を迎える格好になりました。

公聴会当日、中国系・韓国系、そして日系の賛同者は皆、黒地に黄色で蝶のイラストが描かれた揃いのTシャツを着ていました。この蝶は「従軍慰安婦の後援」のシンボルとなって

いるようです。

彼らの人数は、おそらく六十人あまり。なかでも、ソウルからやってきた元慰安婦・李容洙氏はスター気取りの振る舞いです。慰安婦モニュメント設置案を提出したマー市議は、「今日は歴史的な決議をする」と張り切って発言するなど、公聴会会場は異様な雰囲気包まれていました。

「恥を知れ！」事件の真相

モニュメント設置案の提案代表者であるマー市議が議長となって公聴会を進めるのですが、彼は賛成派には時間を十分に与え、一人二分と決められたスピーチ時間を超過してもそのまま続けさせる一方で、私たち反対派のスピーチに関しては厳密に時間を区切り、マイクの電源まで切ってしまう。実に不公平、不公正な

議事進行でした。

李容洙氏は、「私は歴史の証人としてここにいます。日本政府は嘘をついている」などと証言。彼女が話し終わるとワーッと拍手。議長は拍手を止めるよう注意しませんでした。

対する私は李容洙氏の証言に関し、サンフランシスコ州立大学の人類学教授、C・サラ・ソー氏が二〇〇八年に刊行した『慰安婦』と称する書籍を引用する形で、「彼女の現在の証言は過去のものと食い違っている」と指摘しました。

するとマー市議は議長でありながら、私の発言を遮るように「君は慰安婦の女性が嘘つきだと言っているのか！」と割って入ってきたのです。私は一切、そのようなことは言っておりません。ただ文献を示して「過去の発言と違っている」と指摘し、「この本を読んでください」と言ったままで

す。

李容洙氏の通訳がどのように彼女に伝えたのか分かりませんが、私の発言を受けた彼女は激高し、大声で喚びました。しかし議長は一切、注意しませんでした。

このやりとりをどう勘違いしたのか、最後にはカンポス議員が「恥を知れ」(Shame on you!)と四度にわたって私を罵倒したのです。これも議事進行上、許されることではないはず。公聴会という双方の意見を聞く場で、自分の意見と違う発言があったからといって罵声を浴びせるようでは、議員としての資質にかかわりません。しかし、これも議長は注意しませんでした。

設置賛成派の新聞や韓国紙、またネット上などでは、私が慰安婦を「嘘つき」と罵倒し、それに対してカンポス議員が義憤に駆られて激高したか

のような情報が出回っているようですが、事実ではありません。

都合のいいように事実をねじ曲げて、あたかも私が慰安婦を罵倒し、人権意識の高い議員が窘めたかのよう

国民を裏切る政府

に報じる。まるで朝日新聞の口吻のようです。

また、モニュメント設置に必ずしも積極的でなかった議員までもが、私の発言を聞いて賛成派に回ったかのような情報や、私の発言が裏目に出て、五分五分だった情勢が一気に悪化したなどと分析している向きもあるようですが、これも事実ではありません。もとより十一人の市議のうち八人が提案者ですから、五分五分であつたわけではない。

なかにはまことしやかに、「政府や外務省は一所懸命やっていたのに、

●「従軍慰安婦」問題は終わらない

日良たちがそれをぶち壊した」などという情報を流布している一派もいるようです。

もし仮に、政府や外務省関係者が本当にそのようなことを漏らしているのだとしたら、反対活動をしているほうとしては堪えられません。日本の名譽のために、と前線で戦っている人間に、味方が後ろから撃ちかけてくるようなものです。

私たちには、外務省などからの情報提供や応援は一切ありません。そのうえ、裏で「彼らが状況を悪化させた」などと言っていたのがもし本当だとしたら……。

私をはじめ、反対派としてスピーチの場に立った日本人およびアメリカ人の二十九人は、一切報われないどころか裏切られた思いで、政府や外務省に対する不信感も増すばかりです。

この情報の真偽は分かりませんが、このような情報を流して反対派の意気を阻喪そそうさせることこそが、現在進行形のまさに「歴史戦」であり、「情報戦」なのでしょう。私たちは政府からの何の後ろ盾もありません、敵の情報工作に晒されながら、その戦いの前線に立っているのだということとを改めて実感しました。

中国に騙される米国

サンフランシスコは、伝統的に日本人にとつては不利な土地であったことはたしかです。百年前、『ハースト』という新聞社が日系移民排斥の急先鋒となつて記事を書き、移民禁止法設立を後押ししました。

米国における日本人叩き発祥の地といつてもいい土地柄であることを、中国側もよく研究していたのでしょう。南部に抗日連合の本部を建

てたのも、このような経緯を知つてのことではないでしょうか。

現在のサンフランシスコの町自体、中国系住民の影響力が拡大しており、市長は中国系のエド・リー氏。市議会議員などにも、中国系が陰に陽に食い込んでいるのが現状です。

日米分断を通り越し、中国によるアメリカ乗っ取りにも繋がりがねない中国系住民の暴挙を、なぜアメリカは許しているのか。そもそも、どうしてアメリカ人は中国人にこうも甘いのでしょうか。

歴史的に見れば、蒋介石・宋美齡夫妻のプロバガンダがいまだに効いている——つまり、中国の真の姿がいまも見えていないのかもしれない。

蒋介石は一九二九年、結婚を機に上海のメソジスト教会で洗礼を受け、もともとキリスト教徒だった宋

美齡はたびたびキリスト教の教えを交えた形で蒋介石の売り込みを図りました。これでアメリカは、一気に「親中」に傾いてしまったのです。

グレンデールでの慰安婦像設置では韓国系の教会が陰に陽に活躍していましたし、今回のサンフランシスコの動きに関しても、賛成派が議会に提出したペーパーにはメソジスト教会も名を連ねていました。

メソジストは中国での布教ではかなり成功しましたが、日本では根づかなかった。しびれを切らして日本での布教を諦めたほどですが、「教えが分らない日本よりも、多くの人が受け容れた中国の肩を持つべきだ」との思想が残っているのではないかと懸念を覚えます。

一方、日本国内で取り上げられる海外における慰安婦問題の動きは、市議会などが関係する像の設置など

の話ばかりで、具体的な問題が起きてから知らされるケースがほとんどです。政府や外務省は動きがあれば知っているはずなのに、国民にも在外日本人にも情報を提供しません。

そのため、日本人も報道があつて「忘れていた慰安婦問題をハッと思い出す」という状況ではないでしょうか。その証拠に、国内外の日本人が連携し、継続した情報発信や、地元住民向けの勉強会などを組織的に行うことはほとんどできていないのが現状です。

相手陣営は中韓の連携はもちろん、反日的な在米日本人までが加わって対抗してきます。在米日本人でフェミニスト専門家だという小山エミ氏などはその一人です。

在米日本人の妨害

今年四月、今回のサンフランシスコ

コの公聴会にも参加してくれたセントラルワシントン大学のマリコ・オカダ講師から「大学でアカデミックな講演をしてもらえないか」というお話をいただき、是非ということでお受けしました。

すると当日、小山氏と学生たちはプラカードを掲げて私の講演会を妨害したうえ、彼女らの講演会を同日にぶつけてきたのです。そして「講演はこちら」と自分たちの会場へ誘導したせいで、「慰安婦の講演会がある」と私の話を聞きに来た岡田氏の生徒までが隣のホールへ行ってしまう事態になりました。

それでも一日目は何人か学生が聞きに来てくれましたが、二日目も妨害に遭い、学生の聴衆はゼロ。部屋の中の真ん中に小山氏が陣取り、その前で話をしなければならぬ事態になったのです。

愛煙家通信
CONFORT
 No.14
 本誌694円+税
 好評発売中

巻頭
インタビュー
 肺ガンとタバコの
 因果関係を考える(下)

連作小説シリーズ
佐藤洋二郎
 「初島」

健康だの清潔だのと騒ぐのは
 ほとんどビョーキだよ
 山本晋也
 映画監督

「受動喫煙」説のいかげんさ
 秦郁彦
 現代史家

たつた一人でも最後まで
 キセルづくりを続けたい
 飯塚昇
 キセル職人

「ワタシ」もくもく交友録
 わが友池部良・
 立木義浩
 矢崎泰久
 ジャーナリスト

「美しい分煙社会」
 の作り方
 須田慎一郎
 検証シリーズ

Web版 <http://aienka.jp>

WAC出版局
 東京都千代田区五番町4-5
 五番町コスモビル
 tel 03-5226-7622

彼女はサンフランシスコの公聴会の現場にもいたようで、ツイッターやブログを使って「目良が状況を悪化させた」政府や外務省も目良をよく思っていない」という情報を触れ回っています。このような、異様で常識から外れた手も平気で使ってくるような人たちが相手に孤軍奮闘するのは本当に骨が折れます。

一方、こちら側の慰安婦モニユメントを歓迎していない人たちのなかにも、中国系、韓国系の住民が多い地区では内心、慰安婦像に反対していても表立って声を上げたくない、

という人もいます。「面倒なことになる」「何をされるか分からない」というのが理由ですが、この気持ちは分らないではありません。

今回のサンフランシスコの公聴会のあと、ある人がこう言いました。「相手は中国という大国であるうえに、中国共産党です。目良さん一人でするのにはもう無理ですし、身の危険もある。もう活動はやめて、体を大事にしてください。目良さんは中国や抗日連合の怖さをまだまだご存知ない。私はこの地に住んでいるから、彼らが本当に怖いのです」

その方はこれを最後に、住民としての運動は止めると言っていました。

中国共産党との戦争

今回のサンフランシスコでの結果を受けて、菅官房長官は「政治問題、外交問題にするべきじゃない。諸外国で各民族が平和と調和のなかで生活しているコミュニティに、出身国の意見の違いが持ち込まれるべきではない」と述べています。

後段はまさにそのとおりです。しかし、前段は問題です。日本政府はこの問題に関して常に「政治問題では

ない、外交問題ではない」と言います
が、在米日本人からすれば、これは
生活に直結する問題であると同時に、
政治問題、外交問題以外の何物
でもないのです。

今回の公聴会を経て改めて見せつ
けられましたが、相手の組織力は巨
大です。私たちは「在米中国人」では
なく、「中国共産党」と戦っているの
です。

相手は至れり尽くせりで、こちら
は防戦一方。もはや、われわれ一市
民が手弁当で参加して応戦できる状
況ではない——。これが、在米日本
人が歴史戦に直面した実感なのです。

本来なら、とつくに政府が介入し
ていなければならぬ問題です。も
ちろん、外交官に公聴会の場に立て
るとは言いません。情報提供や戦略の
相談に乗ってくれるだけでもいい。
しかし「政治・外交問題にしない」と

いう政府の方針によって、それすら
も叶わないことが問題です。

日本人はなぜか様々な問題につい
て、「まさかそこまで悪くはならない
だろう」「分かってもらえらるだろう」と
考えがちですが、政府や官僚がそれ
では困る。

これまでも「ここまで譲れば韓国も
無理は言わないだろう」などと甘やか
し、韓国に「日本に文句を言えば何か
が出てくる」という成功体験を味わわ
せてしまった。この「甘さ」が日本外
交の失敗の原因です。外交では最悪
の事態を想定する必要があります。

いまのような消極的な態度では、
問題は拡大こそすれ、解決には一切
向かわないことをよく肝に銘じても
らいたい。これは歴史戦、情報戦と
いう「真の戦争」だと心得てもらい、
真剣に日本人の名誉と利益を守って
もらいたいのです。

「歴史の真実を求める世界連合会(GAHT)の
ご連絡先

住所

〒105-6027

東京都港区虎ノ門 4-3-1、城山トラスト

タワー27階

電話・03) 5403-3512

ご寄付の宛先

銀行

銀行名…三菱東京UFJ銀行

支店名…ミツビシトウキョウユウエフジエイ

支店名…藤沢支店(支店番号257)

口座番号…0421906 普通預金口座

口座名…歴史の真実の会

レキシノシンジツノカイ

ゆうちよ銀行

振込口座名…歴史の真実の会

レキシノシンジツノカイ

振込口座番号…00180-0-292163

※クレジットカードからの寄付や、その他お問

い合わせにつきましてはGAHTホームページ

(<http://gaht.org>)をご覧ください。

めらこういち

一九三三年、朝鮮京城府生まれ。九州柳川に引き揚げ。

東京大学工学部建築学科卒。同修十課程修了直後に、フ

ルブライト留学生として渡米。ハーバード大学で経済学

の助教授を務めたあと、六九年に世界銀行の都市開発局

勤務、同銀行の開発方針作成に従事。九五年から南カリ

フォルニア大学で国際ビジネス教授担当。二〇〇八年、

退職。〇六年よりロサンゼルスで非営利法人日本再生研

究会を立ち上げ、理事・長職にある。(連絡先・kouchi@

meira@atn.net)。最近の編著書に「ツッカーサーの

呪いから目覚めよ日本人!」(桜の花出版)がある。